

<講義コード> 5507301

<開講学部> 経済情報学部経済情報学科

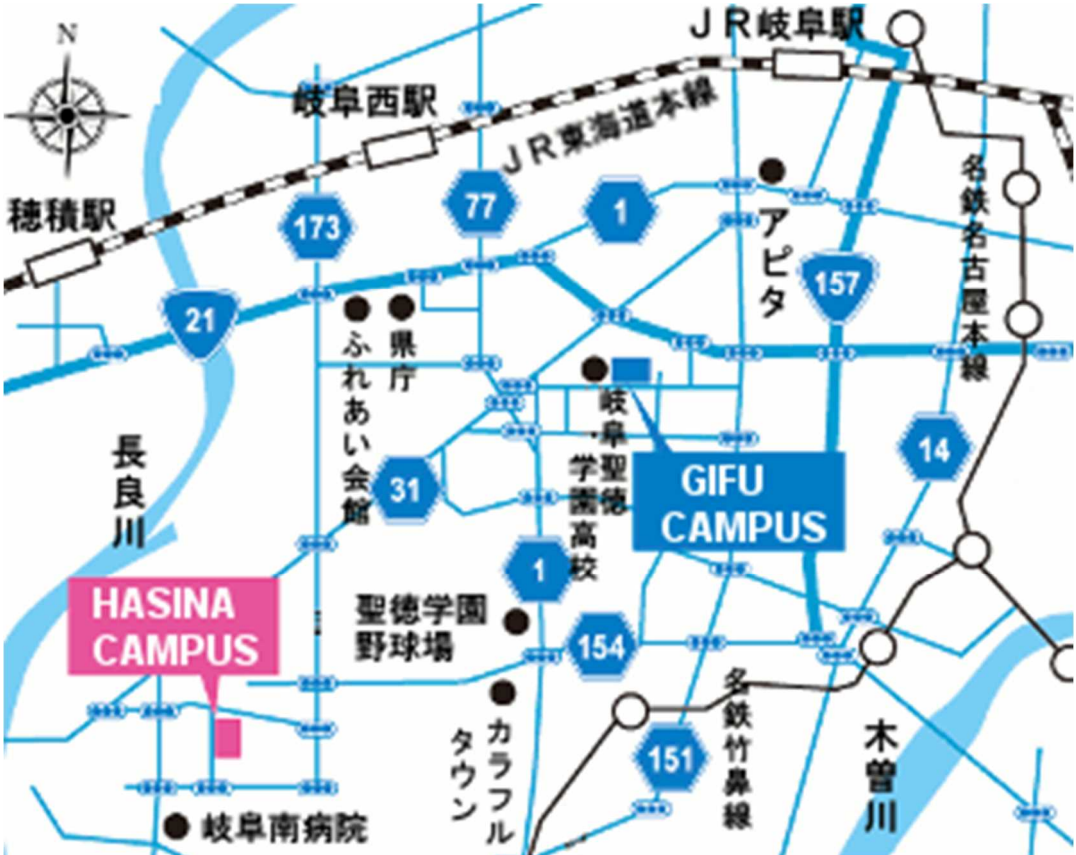
2018年度

科目名	金融論 I	単位	講義区分	担当教員	加納 正二
	2単位	講義			
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力 情報の分析に関する力 ナンバリング				
到達目標及びテーマ	金融に関する基礎知識をマスターし、金融システムを比較考察することにより、現在の日本で重要な論点となっている現実の金融問題を理解する。				
授業の概略	金融システムの基礎と貨幣の基礎を学んだ後、金融制度について学び、現代の金融について考察する。 教科書にそって進めますので教科書を持参してください。				
授業計画					
第1回	イントロダクション、授業の進め方・試験についての説明、日本経済の全体像、教科書1章				
第2回	金融システムの役割と金融取引、教科書1章				
第3回	金融機関と金融市場の役割、教科書1章				
第4回	金融規制と金融インフラストラクチャ、教科書1章				
第5回	金融仲介機関の役割、教科書2章				
第6回	ブルーデンス政策、銀行経営と金融再編、教科書2章				
第7回	金融市場の役割と特徴、教科書3章				
第8回	短期金融市場、長期金融市場、教科書3章				
第9回	市場型間接金融とは何か、類型、教科書4章				
第10回	日本版市場型間接金融の現状と課題、教科書4章				
第11回	公的金融の役割、教科書5章				
第12回	日本の公的金融の仕組み、教科書5章				
第13回	日本の公的金融の将来、教科書5章				
第14回	金融システムと実物経済、教科書6章				
第15回	まとめ、質問				
	定期試験				
事前学修	教科書の該当の章を復習し、講義ノートを読み返すこと。	教科書の該当の章を読むこと。			
事後学修	2時間	教科書の該当の章を復習し、講義ノートを読み返すこと。			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	100 %	基本概念や金融専門用語の理解を前提とした上で、日本の金融システムを理解しているかを試す800字の小論文を課します。持ち込みなし。また授業に参加していることが、当然ながら受験資格となります。			
レポート	%				
上記以外の試験、平常点評価	%				
教科書	「金融システム論」岡村秀夫、田中敦、野間敏克、藤原賢哉、有斐閣コンパクト				
参考資料	なし				

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

岐阜聖徳学園大学「金融論Ⅰ」科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	金融論Ⅰ
時間割	毎週火曜日 2時限目 10時40分開始 12時10分終了
初回の授業日	4月10日(火)
講義室	岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス 3号館 355教室
注意事項	・この講義は対面授業となります。 ・初回以降の授業のお知らせは学内の掲示板で行います。
授業についての 問合せ	岐阜聖徳学園大学 岐阜教務課 Tel: 058-278-0731

地図	
交通アクセス	名鉄岐阜駅前(1番のりば)発→JR岐阜駅(6番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:六条大溝町) 名鉄岐阜駅前(2番のりば)発→JR岐阜駅(4番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:東鶉または岐阜保健短大前)